

先 進 地 調 査 等 報 告 書

令和 6 年 7 月 23 日

天 童 市 議 会 議 長 様

会 派 名

代表者氏名 野口 さつき

下記により、会派において調査（視察）が終了したので報告します。

記

期 間	令和 6 年 7 月 4 日（木） から 令和 6 年 7 月 5 日（金） まで
調 査（ 視 察 ） 先 調 査 項 目	◎ 秋田県仙北郡美郷町 千畑土地改良区 田んぼダムの概要・技術理解 スマート田んぼダムの実証状況 ◎ 宮城県大衡村 大衡村役場 工業団地へのアクセスや物流などの利便性 水道・電気・ガスなどの事業活動に必要なインフラ 企業誘致のための税制優遇措置
調 査（ 視 察 ） 目 的	◎ 田んぼダムに関する調査 秋田県仙北郡美郷町千畑土地改良区の田んぼダム事業について、仕組み、効果、課題等を現地調査し、本市の農業水管理や防災対策の参考とすることを目的とする。 ◎ 企業誘致に関する調査 宮城県大衡村の企業誘致活動について、現状と課題、今後の展望を包括的に理解し、本市の企業誘致活動に活かせる知見を得ることを目的とする。
市 政 と の 関 連 性	・近年、1 時間に 50 ミリを超える非常に激しい雨が増加しており、本市でも令和 2 年 7 月や令和 4 年 8 月に浸水・冠水被害が発生し、その対策が急がれている。田んぼダムはその対策の一つとして検討すべき事案である。 ・本市では荒谷地区に新工業団地を計画しており、その企業誘致にあたり宮城県大衡村の先進的な取り組みを参考にすべきである。
調 査（ 視 察 ） 内 容	◎ 秋田県仙北郡美郷町 千畑土地改良区 ・田んぼダムの概要・技術理解について 美郷町千畑土地改良区の概要 賦課面積 1,805,1ha(うち畑 52,7ha)

	組合員数 1,003 名 総代数 43 名 ○スマート田んぼダム実証事業計画概要について ・大仙美郷地区は、秋田県仙北郡美郷町の 1 級河川雄物川水系丸子川の左岸に位置する水田地帯である。 平成 29 年に、県営畑屋中央地区農地整備事業により 1 ha 区画の大区画化と用排水路整備がされた。 ・大仙美郷地区の下流の高梨地域では、平成 29 年 7 月の梅雨前線豪雨等で河川の氾濫や、集落での浸水被害が多発しており、秋田県では、雄物川圏域流域治水協議会を立ち上げ、流域一帯で総合的な治水計画が検討されている。 ・スマート田んぼダム 9.2ha、従来型田んぼダム 10.3ha、対象ほ場 5.7ha を設定し、必要な自動排水システム等整備を実施される。用排水路・用排水柵については、概施設を活用し事業費の低減が図られている。スマート田んぼダム・従来型田んぼダムの管理と関係農業者への連携整備は、秋田県、大仙市、美郷町、美郷町千畑土地改良区、関係農業者が密に連携し情報共有が徹底して図られている。 ・大仙美郷地区を含む一体の地域では、以前より従来型田んぼダムの取り組みを実施していたが、スマート田んぼダム実証事業を契機として秋田県及び関係市町村が主体となって田んぼダムの普及・促進を図ることとなっており、令和 3 年度以降、ほ場整備実施地区中心に規模を拡大している。 ・事業の内容 スマート田んぼダム現地調査 面積 25,2ha 事業費 3,000 千円 スマート田んぼダム整備事業 面積 19,5ha 事業費 17,000 千円 合計 20,000 千円 ○田んぼダム取組内容 【田んぼダム区域(比較ほ場)】 素材はウレコート板で、令和 3 年度は 46 ヲ所、令和 6 年度は約 450 ヲ所に(1200 枚)配布。令和 6 年度多面的機能支払交付金を活用し作成された。 【スマート田んぼダム区域(実施ほ場)】 クボタ製の WATARAS(ワタラス)を導入し田んぼダムとスマート農業を融合。水管理については栽培スケジュールを設定し 1cm 単位で水位を自動調整できる。また、大雨予測時の前日などに一括一斉排水の遠隔操作を行い、ほ場の水位をゼロにし貯水能力を高める。 ・給水施設(用水側)20 機・排水施設(排水側)38 機を整備 ○実証による比較結果(労働力・収穫量・生育調査) ・水管理などの労働力においては、スマート田んぼダム実施ほ場が慣行区・田んぼダム区域より 4～6 割程度軽減された。収穫量は、収量・品質に明らかな影響は確認されなかった。 ◎ 宮城県大衡村 大衡村役場 ○企業誘致に関する調査について
--	---

	・工業団地へのアクセスや物流などの利便性について 大衡村は、宮城県のほぼ中央に位置し仙台市内、大崎市古川からなど一般道経由でも近距離にあり更に平成22年に大衡ICが開通し高速道路経由で仙台港、仙台空港と交通アクセスが大変優れている。 ・大衡村の概要 人口 5,520 人(令和 6 年 5 月末) 世帯数 2,106 世帯 面積 60,32 平方キロメートル 製造事業所等 46 事業所 /5,338 人 製造品出荷額 ; 39,958,208 万円(県内 3 位) 昼夜間人口比率 182,9%市区町村で県内 1 位、全国 18 位 (昼 10,700 人/夜 5,849 人)(令和 2 年国勢調査) ○工業団地の概要 ・昭和 49 年に、仙台北部中核都市構想発表(宮城県)され、昭和 59 年には第一仙台北部中核工業団地造成、その後昭和 63 年に一部分譲開始された。平成 9 年第二仙台北部中核工業団地造成着手し、平成 13 年、事業主体は、宮城県土地開発公社で工業団地一部分譲開始された。平成 15 年には、すかいらく立地、平成 19 年は、現トヨタ自動車東日本(株)が、立地決定する。第二仙台北部中核工業団地・大衡工業団地 A 地区・B 地区・B その他地域に、誘致業種は自動車関連、高度電子機械関連、食品関連、医療福祉関連、エネルギー関連、航空宇宙関連、船舶関連、木材関連等々立地している。 ○宮城県・大衡村の優遇制度(補助金)について ・大衡村企業立地促進奨励金の対象地域は、第二仙台北部中核工業団地及び大衡工業団地となっており、補助金額は用地取得×企業の業種により率が異なり、限度額は 3 億円で交付時期は建設着工から 5 年間で分割になっている。宮城県では、みやぎ企業立地奨励金制度がある。 ○雇用・求人対策関係について ・学校訪問 「人手不足」解消のため、効果的な雇用に繋がるように宮城県及び大衡村では新規立地した企業様と共に、新卒者確保支援のための「学校訪問」を実施している。 ・ハローワークとの連携 大衡村の管轄するハローワークと連携し、企業様の会社説明会を行っている。 ○今後の展望 ・半導体受託生産大手企業の進出に伴う新たな雇用の創出また、企業進出に伴う税収の住民への還元施策、更に新たな交通体系の模索・検討されている。
市 政 の 課 題 へ の 参 考 等	本市でも令和 2 年 7 月や令和 4 年 8 月に浸水・冠水被害が発生してることから、農業水管理や防災対策の一つとして田んぼダム・スマート田んぼダムが有効的であると考えます。田んぼダム事業を推進するためにも、更に、

	県や近隣市町村、関係機関、土地改良区、関係農業者等と連携し情報共有することも必要であるとする。 企業誘致は、地方経済にとって重要な役割がある。本市では荒谷地区に新工業団地を計画していることから、新たな産業、企業誘致により伴う地方経済の活性化と新規事業の創出や需要の拡大により市全体の発展と地域産業の振興発展が図られる。	
参加者の感想等	参加議員氏名	感 想 等
		美郷町千畑土地改良区内のほ場水管理システムを現場で説明を受け見学することができた。田んぼダムを実施するには、大区画化と用排水路整備、貯水するための畦畔や溝畔の高さと強度が必要である。また、下流地域への配慮など田んぼダムの取り組みによる効果など広く啓蒙活動が必要になる。スマート田んぼダムは、遠隔操作が可能なため、スマートゲートを夜間でも自宅からなど操作ができることは、素晴らしいことである。しかし、ほ場水管理システムの施設投資が高額なため補助事業等が必要になる。また維持費も必要になる。千畑土地改良区内で令和２年７月と８月の豪雨により被害を目の当たりにし、田んぼダムの取り組みに受益者の方から理解を得ることができ事業推進を行っており、今後も区内での取り組み面積を増やす予定で啓蒙活動が行われている。本市でも、近年の気候状況の急変や激しい雨が増加傾向にあるため田んぼダム・スマート田んぼダムは、農業水管理と防災対策の一つになることを学ぶことができた。また、田んぼダム・スマート田んぼダムを実施するためには、様々な課題等があり、解消するためには、県や近隣市町村、関係機関、土地改良区、関係農業者等と連携し情報共有し推進する必要があることも学ぶことができた。今回、学んだことを本市の農業水管理と防災対策に活かし、今後も、田んぼダム事業について調査研究を行っていく。 大衡村は、優れた交通アクセスを生かした企業誘致にあたり先進的な取り組みに力を入れている。大手自動車産業が立地され、それに伴う関連企業、その他にも製造・物流等々さまざまな企業が立地し、更に半導体受託生産大手企業の進出が予定されている。また、雇用・求人対策にも力を入れておられ、学校訪問の中では、新卒者の保護者様にも積極的に啓発活動を行っている。新しい企業誘致のために、企業訪問に積極的

		に活動されていることに感銘を受けた。 そして、企業進出に伴う税収の住民への還元施策、子育て支援施策の充実、新たな産業として、地元の大学と企業との産学官協同で「村じまんの特産せんべい」を開発している。工業団地周辺には、豊かな自然を生かした「万葉クリエートパーク」が整備されており、交通体系では、道路拡幅整備が行われている。工業団地等、産業の拠点を生かした企業誘致と産業との連携による相乗効果で新たな雇用促進、地域活性化に繋がり、地域の産業振興発展が図られ、地元の経済にとって重要な役割があることを学んだ。本市でも、新たな工業団地の整備計画を予定していることから、企業進出に伴い相乗効果で地域経済の活性化、更に地域産業の振興発展が図られることを期待できる。 今回、学んだことを市政に活かし、本市が目指す持続性のある活気に満ちた地域経済の確立のため、産業振興について今後も研さんに努めていく。
--	--	--

※参加議員全員が各調査（視察）先ごとに感想等を記載すること。